

森の学校 だより

富士山、福島、広島 の 3 地区で、森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト vol. 14



プロフィール

木村真樹(きむら まさき)さん

1977年名古屋市生まれ。大学卒業後、銀行勤務を経て2003年4月よりA SEED JAPAN事務局長に就任。2005年10月に東海地方初のNPOバンク「コミュニティ・ユース・バンクmomo(モモ)」を設立、代表理事に就任。社会責任・貢献志向の企業やコミュニティビジネス、NPOに対するマネジメント支援を行っている。

森 羅 万 象

「森にかかわる
達人たち」

ずっと暮らして
いくための、顔
が見えるお金

今回のゲスト

今回のゲスト木村真樹さんは、金融機関勤務の後、20代で環境NGO事務局長を経てNPOバンクを設立しました。最近注目されているNPOバンクとは…。

Q1. momo設立までの経緯は？

大学は経済学部に入ったのですが、本を読めばわかるような授業が多くて途中で文学部に転籍し、アメリカ文学を専攻していたんです。超氷河期と呼ばれる中、地元の金融機関に入ることができました。だったら最初から経済学部を出ておけばよかったかもしれませんね(笑)。銀行では預金・出納・為替・融資の4部門があり、一通り経験しましたが、企業倒産を目の当たりにし、行内でも能力給が導入されるなど、特に40代以下の職員は戦々恐々としていました。退職したとき、周囲は大反対でした。せっかく安定した企業に入れたのに、と。その後、名古屋の中間支援NGOのインターンとして高山とインドにフィールドワークへ行きました。高山では林業体験を通じて輸入材の影響を知り、山間地にもグローバル化の波が押し寄せていることを実感しました。またインドではNGOが水に関するプロジェクトを進めている現場を見ました。いずれも都市と農村、先進国と開発途上国との間にある大きな問題を気づかせてくれました。2003年4月からA SEED JAPANという環境NGOの事務局長として働き始めましたが、同時にエコ貯金プロジェクトがスタートしたんです。「口座を変えれば世界が変わる」を合言葉に、地域・社会のためになるお金の流れをつくるプロジェクトです。元々3年で名古屋に帰ると決めていたので、この経験を活かして2005年10月にmomoを立ち上げました。

Q2. momoの取り組みと特徴は？

momoは20~30代の若者が中心となって設立した東海地方初のNPOバンクです。皆さんからの出資金を、「子や孫がこのまちでずっと暮らしていけるように」という想いを込めて、NPOなど社会問題を解決する事業を行う個人・団体へ融資しています。2009年7月末現在322人の出資者があり、これまで10件・2200万円の融資をしてきました。意外かもしれませんが、自分では金融をやっているという意識はないんです。一般的な金融機関は資金面で地域活動を支援しますが、

momoは非資金面、特に「メディア」と「場づくり」を通じた支援を重視しています。会報誌やWebサイト、メールマガジン、新聞報道等で融資先の取り組みを積極的に紹介しています。また、融資先のニーズをテーマに出資者等と直接対話する「momo bar」「momo cafe」「融資先訪問ツアー」などの場も設けており、こうした取り組みからNPOバンクは「顔が見えるお金」「お金の地産地消」とも呼べるのではないのでしょうか。

Q3. 融資先の取り組みは？

例えば、中山間地で不可欠な「雇用」「エネルギー」「食」をテーマに活動しているNPO・個人があります。いずれも20~30代の若者ですが、伝統文化を継承してグリーンツーリズムを推進しようとしている事業、マイクロ水力発電の設置によるエネルギー自給の取り組み、無農薬・無化学肥料による生鮮野菜の生産と提供と、



出資者とともに融資先を訪ね、自分たちのお金が地域で回り、地域に生かされていることを実感してもらった「融資先訪問ツアー」

いずれもそのまちでずっと暮らしていくために必要な取り組みに融資しています。

ろうきん森の学校全国事務局
NPO法人ホールアース研究所
〒419-0305
静岡県富士郡芝川町下柚野165
TEL : 0544-66-0790
FAX : 0544-67-0567
E-mail : forest@wens.gr.jp
HP : http://wens.gr.jp

NPOバンク代表

私

にも出来る事

地元の

NPOバンク

に参加してみる



「森にかかわる達人」
木村真樹さんの
お話は、まだまだ
続きます！

●木村真樹さんからのオススメ情報

『おカネで世界を変える30の方法』

田中 優 / A SEED JAPANエコ貯金プロジェクト編集
合同出版 2007年

おカネの引き起こす問題を探求し、自分のおカネに意志をもたせるための様々な方法を提案しています。30の方法のひとつを私も執筆させていただきました。

『おカネが変われば世界が変わるー市民が創るNPOバンク』

田中優 著 コモンズ 2008年

「NPOバンクってなに？」と聞かれたら、ご紹介している本です。なぜNPOバンクを作ろうと思ったか、どんなメリット・デメリットがあるか、設立には何が必要か、いま日本にどんなNPOバンクがあるか、海外ではどうか、NPOバンクが思い描く未来はどのようなものか…。こうしたことが書かれています。

■コミュニティ・ユース・バンク momo

<http://www.momobank.net/>



Q4. これからの目標は？

市民のみなさまからの“志金”が地域の中で生かされるためには、実は融資をしてからがスタートで、その後も融資先をつかず離れず見守って、必要な場合は手助けをしていく必要があります。そのためには現在全員がボランティアで運営している体制から、専従1名を配置し、事務局機能を充実させたいと考えています。また、ろうきんなど地域の金融機関とも役割分担をしながら、まだ漏れている地域のニーズを吸い上げていきたいですね。



もり沢山

体験者は 背戸義久 さんです。
労働金庫連合会 財形部

森の体験レポート

「ろうきん森の学校」が広島県にあることは昨年連合会に入って初めて知りました。広島は私の地元なので一度行ってみたいと思っていましたが、ようやく実現できました。森めっちゃ大好き人間です。

このたび初めて「ろうきん森の学校」広島地区へ参加させていただきました。以前、福島地区にも参加させていただいたことがありますが、福島地区とはまた違った景観でした。到着とともに大きな池が現れ、先に進んで行くと手作りの立派な作業棟があり、作業棟の右手の一段高い平地にあがると、作りかけのロッジが目に入ってきました。何もかもが手作りで大人の秘密基地のように感じられました。少年時代に毎日自転車ですら森に出かけ、少しずつ自分たちの過ごしやすい場所に変えていき、自分たちだけの空間を創りあげていくそんな感覚が思い出されました。少しずつ完成する達成感は、少年時代のそれよりも遥かに大きい、かつ、気持ちのいいものだろうなと眺めていました。今回の小麦プロジェクトに参加して、小麦の刈り取り作業と、ここでとれた

小麦粉を使ったパン作りを行いました。刈り取りはたいした作業を行っていないのに普段使わない箇所が筋肉が悲鳴をあげるほどの重労働でした。今回行った作業は小麦の収穫作業のほんの一部にすぎないもので、改めて食の大切さを実感させられました。



Q: 大業がす。だっ銀行なが特に由名古ワー山間また見まきなと金ふる」エ活が
Q: 「NPOと暮解決322したはな

富士山地区

柚野エリア

黄金の田園風景を一瞥 田貫湖でムササビ観察!



ムササビ

皮膜を広げて木から木へと飛び移る姿は、まるで空飛ぶ座布団! 田貫湖エリアでは運がよければ、そんなムササビの姿を見ることが出来るかもしれません。早朝では巣穴から覗くこんなかわいらしい姿も・・・。



黄金色の稲

田園風景の広がる柚野エリア。秋には色づいた稲穂が垂れ下がり、辺り一面黄金色の世界です。これぞ日本の風景。



里山つなぎ隊6月

～お茶じごと&ブルーベリーじごと～



ひたすら・・・広大なお茶畑

6月の里山つなぎ隊は、富士山麓のお茶農家さんで、お茶じごと(もっぱら石灰まきと草とり)とブルーベリーじごと(もっぱら草とり)のお手伝いをしました。参加者は中学生から定年退職後の方まで様々。それぞれの世代で刺激があったように思います。里山には、人それぞれに合った「里山じごと」がある。本来の里山の良さと秘訣は、世代を超えた交流が大きなテーマになりそうです。お茶畑は広大ですが、沢山のひと協力することでみるみ

る間に作業が進みました。ブルーベリーの草とりも同じ。「みんなで協力しあうこと＝古きよき日本の文化」そんなことを感じられる「つなぎ隊」となりました。夜は農業・農家などについて語り、あつという間に夜が更けてゆきました。毎月1回里山つなぎ隊を実施しています。一緒に日本の里山を元気にしましょう!



田舎日和 ～かあちゃんの台所編～ 小麦(6月20日～21日)

かあちゃんの台所編は、1つの食材を中心に食事作りをしながら、その食材についてや、安全で安心な食についての学びもしたいと計画しました。6月は、ホールアース自然学校に1泊して小麦を材料とした、おやき、うどん、炊飯器で焼いたパン、ピザなどを作りました。お店に行かなくても、ちょっと手間をかけただけで作ることができる料理です。地元芝川

で取れた小麦粉とホールアース農場の野菜を使い、地産地消を心がけました。食べるだけではなく、クイズに答えながら小麦について知り、食品の表示についても学びました。卵のサイズ(SS・LL)は一個の卵の重さが6グラムごとになることや、栄養素の表示、遺伝子組み換え食品・食物アレルギー表示などについても学びながら、作る楽しみ食べる楽しみを味わった2日間でした。麦わらのストローで飲んだ梅ジュースの美味しかったこと、夜のオプションの蛍見学は、心癒されるひと時でした。今後、ソバ、大豆を題材に料理をしながら、食の安全についての学びも行う予定です。



踏んで、踏んで出来上がったうどん!

活動予定



「ろうきん森の学校 田貫湖秋まつり」

日時: 10月4日(日)
場所: 田貫湖エリア(田貫湖畔にある
日本大学富士自然教育センター)
対象者: ろうきん富士宮支店組合員
参加費: 無料

今年で「田貫湖秋まつり」は4年目の実施をむかえました。今まで地域の財産区や郵便局など地域の人に支えられての運営を行ってききましたが、今回はさらに、ろうきん富士宮支店と共に運営することになりました。カヌーなどのアウトドアスポーツや木を使ったクラフトなど盛りだくさん。

福島地区

湯ノ岳エリア

福島県遊歩道百選 紅葉の名所、四時溪谷!



四時溪谷 (1)

湯ノ岳山荘から南西に車で30分位のところに紅葉の名所、四時溪谷があります。ここは福島県遊歩道百選にも選定されたところで四季折々楽しめます。標高は400m弱と低いところですが、ブナ、イヌブナなどの大木も多く樹木観察に適しており、カエデ類は10種類見られます。紅葉の見頃は10～11月になります。



四時溪谷 (3)



四時溪谷 (2)

森の手入れ作業 ～自然わくわく観察会～



ワイワイ楽しく、みんなで木工クラフト!

6月の自然わくわく観察会は大賑わい!なんと64名もの皆さんで賑わいました。花炭づくり、間伐したヒノキの玉切り、木工クラフト、竹林の手入れなどなど、森の学校ならではの作業のオンパレード。中でも一番人気はやはり野外料理。福島地区自慢の石釜を活用して、焼イモ、焼玉ネギ、ピザなどの石釜料理を作りました。作業で汗を流した後のご飯はやはりおいしい。みんなで舌鼓をうちました。



里地で農業

福島地区の拠点である、湯ノ岳山荘から車で5分位のところに約800坪の畑があります。6月までの収穫はヤマウド、ショウガ、ソラマメ、玉ネギ、小麦、ジャガイモでした。小麦の脱穀は昔ながらの足踏み脱穀機で行いました。手がかかるものだからこそ、収穫の喜びをじっくり味わうことができました。その他植えているはブルーベリー、トウモロコシ、大豆、サトイモ、サツマイモ、落花

生、カボチャ、トマト、ネギ等々。夏から秋にかけて、畑での収穫物が豊かに実る時期。旬の野菜を味わいに是非福島地区へお越しください。また8月には、戸渡地区の300坪の畑にソバまきを、その他にも山菜、キノコの栽培にも力を入れていきます!



手がかかる分、収穫の喜びは倍増!

活動予定



「キノコの勉強会」

日時: 10月24日(土)
9:00～13:00
場所: 湯ノ岳エリア
対象者: 誰でも
参加費: 無料

湯ノ岳山荘とその周辺の里山に入ってキノコの勉強会を兼ねてキノコ採りを行います。ただ採るだけじゃない、キノコの不思議に迫ります。キノコが好きの人、キノコが食べたい人、秋の自然を満喫したい人、是非ご参加ください。

富士山地区

柚野エリア

黄金の田園風景を一瞥 田貫湖でムササビ観察!



ムササビ

皮膜を広げて木から木へと飛び移る姿は、まるで空飛ぶ座布団! 田貫湖エリアでは運がよければ、そんなムササビの姿を見ることができるかもしれません。早朝では巣穴から覗くこんなかわいらしい姿も・・・。



里山つなぎ隊6月

～お茶じごと&ブルーベリーじごと～



ひたすら・・・広大なお茶畑

6月の里山つなぎ隊は、富士山麓のお茶農家さんで、お茶じごと(もっぱら石灰まきと草とり)とブルーベリーじごと(もっぱら草とり)のお手伝いをしました。参加者は中学生から定年退職後の方まで様々。それぞれの世代で刺激があったように思います。里山には、人それぞれに合った「里山じごと」がある。本来の里山の良さと秘訣は、世代を超えた交流が大きなテーマになりそうです。お茶畑は広大ですが、沢山のひとと協力することでみるみ



黄金色の稲

田園風景の広がる柚野エリア。秋には色づいた稲穂が垂れ下がり、辺り一面黄金色の世界です。これぞ日本の風景。

る間に作業が進みました。ブルーベリーの草とりも同じ。「みんなで協力しあうこと＝古きよき日本の文化」そんなことを感じられる「つなぎ隊」となりました。夜は農業・農薬などについて語らい、あつという間に夜が更けてゆきました。毎月1回里山つなぎ隊を実施しています。一緒に日本の里山を元気にしましょう!



田舎日和 ～かあちゃんの台所編～ 小麦(6月20日～21日)

かあちゃんの台所編は、1つの食材を中心に食事作りをしながら、その食材についてや、安全で安心な食についての学びもしたいと計画しました。6月は、ホールアース自然学校に1泊して小麦を材料とした、おやき、うどん、炊飯器で焼いたパン、ピザなどを作りました。お店に行かなくても、ちょっと手間をかけただけで作ることができる料理です。地元芝川

で取れた小麦粉とホールアース農場の野菜を使い、地産地消を心がけました。食べるだけではなく、クイズに答えながら小麦について知り、食品の表示についても学びました。卵のサイズ(SS~LL)は一個の卵の重さが6グラムごとに変わることや、栄養素の表示、遺伝子組み換え食品・食物アレルギー表示などについても学びながら、作る楽しみ食べる楽しみを味わった2日間でした。麦わらのストローで飲んだ梅ジュースの美味しかったこと、夜のオプションの蛍見学は、心癒されるひと時でした。今後、ソバ、大豆を題材に料理をしながら、食の安全についての学びも行う予定です。



踏んで、踏んで出来上がったうどん!

活動予定



「ろうきん森の学校 田貫湖秋まつり」

日時: 10月4日(日)
場所: 田貫湖エリア(田貫湖畔にある
日本大学富士自然教育センター)
対象者: ろうきん富士宮支店組合員
参加費: 無料

今年で「田貫湖秋まつり」は4年目の実施をむかえました。今まで地域の財産区や郵便局など地域の人に支えられての運営を行ってききましたが、今回はさらに、ろうきん富士宮支店と共に運営することになりました。カヌーなどのアウトドアスポーツや木を使ったクラフトなど盛りだくさん。

ろうきん森の学校 活動予定

富士山地区

- 柚野エリア
- 田貫湖エリア
- 御殿場エリア

福島地区

- 湯ノ岳エリア
- 岩出・好間・藤原エリア

広島地区

上記以外にも、毎週木曜日は平日作業隊による里山整備等の活動を行っています。平日作業隊の参加は自由で参加費もありませんが、初めての方はお問い合わせ下さい。

月	日程	内容	対象	費用
9月	9月13日(日)	里山つなぎ隊 ～季節の里山しごと～	小学校・中学年以上	無料
	9月27日(日)	おいしい里山物語 ～木の実拾いからご飯づくり～	3歳～	3,500円(大人)2,500円(子ども)
10月	10月4日(日)	田貫湖秋まつり ろうきん富士宮支店組合員		無料
	10月11日～12日(月)	里山つなぎ隊 季節の里山しごと～	小学校・中学年以上	無料
	10月25日(日)	おいしい里山物語～自然農法の種まきと旬の野菜収穫～	3歳～	3,500円(大人)2,500円(子ども)
11月	11月7日(土)～8日(日)	里山つなぎ隊 ～季節の里山しごと～	小学校・中学年以上	無料
	11月15日(日)	里山つなぎ隊 ～季節の里山しごと～	小学校・中学年以上	無料
	11月21日(土)～23日(月)	田舎日和 ～竹食器づくりとそばうち～	18歳以上	費用 32,000円
	11月29日(日)	おいしい里山物語～ゆず飴み 体験とゆずの保存食づくり～	3歳～	3,500円(大人) 2,500円(子ども)
	11月28日(土)9:00～12:00	自然観察会～木工クラフト～	どなたでも参加できます	費用 500円
	11月3日(火)	わくわく探検隊チャレンジ編 ～ツリークライミング&森のオリンピック～	高校生以上/ファミリー-小学3年生～中学生 (定員20名)	費用 12,000円(全3回分)

Information

NPO法人ホールアース研究所
〒419-0305 静岡県富士郡芝川町下柚野165
TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567
E-mail: forest@wens.gr.jp
HP: http://wens.gr.jp

Access

電車: JR身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分
車: 東名高速道路富士I.C.より西富士有料道路経由40分



Information

NPO法人いわきの森に親しむ会
〒970-8326 いわき市常磐藤原町湯の岳2湯ノ岳山荘内
TEL:0246-44-3273 FAX:0246-44-3273
E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp
HP: http://www.16.plala.or.jp/goan/

Access

電車: JR常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー15分
車: 常磐自動車道いわき湯本I.C.より10分



Information

NPO法人ひろしま自然学校
〒733-0004 広島市西区打越町11-8-207
TEL:082-237-1163 FAX:082-237-8863
E-mail: nkk2002@mac.com
HP: http://www.hs-gakkou.jp/Access

Access

電車: JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分
車: 広島自動車道広島北I.C.より20分



樹になる話



樹の年輪

樹の年齢を測ることができる記しとして知られる「年輪」。樹齢何百年、という大木はもちろん、このようにわずか数十年のヒノキにも立派な年輪を刻んでいる。人間でいえばまだまだ小学生くらい。枝を巻き込んだり、傷つけられたり...。なんだか人間の皺のように愛おしく見える。

ろうきん森の学校は...

日本の里山再生をテーマに、労働金庫連合会の50周年記念社会貢献活動として、NPO法人ホールアース研究所が主管で行う、森林環境教育事業です。2005年度より10年間にわたり富士山、福島、広島の全国3地区で同時展開しています。